

12月22日(金)

⚙️ 新学術領域研究

- ・ [スクラップビルド] [脳構築の時計と場]  
— 合同若手シンポジウム —

次世代脳プロジェクト  
冬のミニポジウム2017



新学術領域研究

# [スクラップビルド] [脳構築の時計と場] 合同若手シンポジウム

12月22日(金) 10:00 - 17:00 【中会議場 2-4】

■影山龍一郎・京都大学

■榎本和生・東京大学

脳の発生・発達の過程においては、神経新生、細胞移動、神経回路形成・再編などダイナミックなイベントが連続的に起こり、さらにそれぞれのイベントが時空間的に密接に関連する。また近年のイメージング技術の向上、光遺伝学の創成、数理技法の取り込みなどにより、成熟期の脳においても、シナプスレベルのミクロな構造変動から、神経新生を伴うマクロな回路改変まで、脳内の様々な部位とスケールにおいて、脳機能と密接にカップルする構造変動が起きている事が見えてきつつある。本シンポジウムでは、「スクラップ&ビルドによる脳機能の動的制御」と「脳構築における発生時計と場の連携」の2つの新学術領域における新進の研究者に最新の話題を提供して頂き、今後の研究のブレークスルーについて議論して頂く。

## <タイムテーブル>

- |               |   |
|---------------|---|
| 10:00 ~ 10:20 | 「髄鞘のスクラップアンドビルドによる脳情報処理の効率化」<br>和氣 弘明 (神戸大学)                    |
| 10:20 ~ 10:40 | 「自閉症早期にみられる領域特異的な大脳皮質肥大化に関わる分子機構」<br>川口 大地 (東京大学)               |
| 10:40 ~ 11:00 | 「老化に伴う神経回路の長期的変化による味覚感受性の応答」<br>殿城 亜矢子 (千葉大学)                   |
| 11:00 ~ 11:20 | 「遺伝子発現動態と神経分化の時間制御機構」<br>下條 博美 (京都大学)                           |
| 11:20 ~ 11:40 | 「マイクログリアによる抑制性シナプスのスクラップ」<br>小山 隆太 (東京大学)                       |
| 11:40 ~ 12:00 | 「未成熟神経における大脳皮質ニューロンのサブタイプ決定」<br>大石 康二 (慶應義塾大学)                  |
| 12:00 ~ 13:00 | 休 憩   |
| 13:00 ~ 13:20 | 「スクラップ&ビルドによるマウス大脳皮質の神経成熟および神経細胞移動の制御機構」<br>川内 健史 (先端医療センター研究所) |
| 13:20 ~ 13:40 | 「多能性幹細胞から探る発生機構における種差」<br>瀬戸 裕介 (理化学研究所 多細胞システム形成研究センター)        |
| 13:40 ~ 14:00 | 「神経活動依存的な前シナプス構造のリモデリング」<br>鈴木 崇之 (東京工業大学)                      |

- 14:00 ~ 14:20 「Transcriptional mechanisms underlying the establishment of sensory areas」  
侯 珮珊 (HOU, Pei-Shan) (理化学研究所 多細胞システム形成研究センター)
- 14:20 ~ 14:40 「投射ニューロンに着目した大脳皮質神経回路研究の最前線」  
山下 貴之 (名古屋大学)
- 14:40 ~ 15:00 「小脳皮質形成におけるニューロンの機械的性質の調節機構」  
中澤 直高 (京都大学)
- 15:00 ~ 16:00 ポスターセッション
- 16:00 ~ 16:20 「トリの歌学習における種の同一性と個の多様性を同時に担う神経基盤」  
矢崎 (杉山) 陽子 (沖縄科学技術大学院大学)
- 16:20 ~ 16:40 「脳発生制御機構の解明に向けた数理モデリング・シミュレーション基盤構築の試み」  
亀尾 佳貴 (京都大学)
- 16:40 ~ 17:00 「スクラップ&ビルドによる発達期の神経回路形成とその破綻としての精神疾患」  
林 (高木) 朗子 (群馬大学)